

## 百名山

私の場合は、成人病予防から始まり、生涯学習、五十歳台の記念事業としての、百名山登山でした。登山の知識の無いまま、一人歩きから始まり、必ず無事に家に帰る為の情報収集を、岳人と山溪に求め、随分沢山の、雑誌が貯まってしまった。そこで、長野県山岳訓練センターを知り、受講。主幹であった栗林さんとの出会いが、私の登山を、生涯学習に発展させてくれた一回目の転機。白馬岳への実習登山の折、マンツーマンで歩き方を教わるチャンスにめぐり合い、この事が後々、私がリーダーをする折に、登山道の中に自分のルートを探せとか、ドッコイショと上がったら、次の一步を無理に出さずに、その場でトントン足踏みをせよ等、アドバイスに大いに役立った。

山岳保険。最近個人でも簡単に加入が出来ますが、当時はままならず。団体加入の為に縁あってレイホウに入会させてもらったのが、二回目の転機。

一人歩きの時は、全て自己責任。それだけで済んだけれども、仲間が出来、リーダーとして歩き始めると、リーダー責任。メンバーとしての共同責任。を自覚した。そして安全登山の為に日常的に訓練をするようになった。素早く仕事にけりを付け、重登山靴を履いて、ゴルフ場までの7kmを、歩き、時にはジョグ、時には20kボッカ。すると登山に余裕が出来て、登山が一層楽しく、百名山に励む結果となった。

百名山ブームで多くの方が目指している。最短は、77日とか？

私は10年を要したが、この10年を掛けた事が、私の人生に、徐々に第3の転機をもたらしていたように思う。この間、日本経済はバブル崩壊。後遺症の不景気な時代が続いている。右肩上がりから、右肩下がり、経営者としては、受難の時代。仕事一筋。お菓子作り一筋できた私は、ストレスに押しつぶされそうに為っていた。そんなとき出会ったのが登山。100名山。新しい目標が出来、新しい世界が開けて、元気ハツラツの還暦を迎えた。お菓子で造る花の名前のほか、無縁であった高山植物の名前も随分覚えたり、何より気の置けない、山仲間が出来た事が嬉しい。

元気でハツラツと山に登れる最後の10年になるかもしれない。此れからの10年。どんな山に仕様か、黒岳でパンをもう一度焼きたい。行者小屋で手打ちそばを食べたい等など、思案中。